

文献

Aagaard, H. & Hall, E.O.C. (2008). Mothers' experiences of having a preterm infant in the neonatal care units: A meta-synthesis. *Journal of Pediatric Nursing*, 23(3), e26-e36.

安藤晴美, 岡部恵子(2006). 親子関係形成に向けての面会に関する NICU 看護師の思い. *山梨大学看護学会誌*, 4(2), 47-57.

青木康子, 加藤尚美, 平澤美恵子(2002). 助産学大系第 5 巻母子の心理・社会学. 東京: 日本看護協会出版会, 259-260.

青木康子, 加藤尚美, 平澤美恵子(2003). 助産学大系第 9 巻助産診断技術学Ⅲ. 東京: 日本看護協会出版会, 49-56.

Benner, P. (1984). *From Novice to Expert*, Addison-Wesley, California.

Burns, S., Bulman, C. (2000). 看護における反省的実践. 田村由美, 中田康夫, 津田紀子 (2005). ゆみる出版.

千田理恵子, 鈴木由美, 川村啓子(2007). 面会ノートの有効的な活用の検討, *仙台赤十字病医誌*, 16(1), 63-67.

Cranton, P. (1992). おとなの学びを拓く. 入江直子, 豊田千代子, 三輪健二(2006). 鳳書房.

Cranton, P. (2000). おとなの学びを創る. 入江直子, 三輪健二(2008). 鳳書房.

DalPezzo, N.K. (2009). Nursing care: A concept analysis, *Nursing Forum*, 44(4), 256-264.

De Rouck, S. & Leys, M. (2009). Information needs of parents of children admitted to a neonatal intensive care unit: A review of the literature (1990-2008). *Patient Education and Counseling*, 76(2), 159-173.

Fingeld-Connett, D. (2007). Meta-synthesis of caring in nursing, *Journal of clinical nursing*, 17, 196-204.

Fraster, S., Greenhalgh, T. (2001). Coping with complexity; educating for capability. *BMJ*, 323, 799-803.

藤崎和彦(1997). 傾聴、受容、共感: 模擬患者をとおしてみえてきたもの. *月刊ナーシング*, 17(12), 62-71.

Greenhalgh, T. (2006). グリーンハル教授の物語医療学講座, 斎藤清二訳(2008), 三輪書店.

Greenhalgh, T., Collard, A. (2003). 保健専門職のための NBM ワークブック 臨床における物

- 語共有学習のために, 斎藤清二訳(2004). 金剛出版.
- Greenhalgh,T.,Hursitz, B.(1998).ナラティブ・ベイスト・メディスン 臨床における物語りと対話, 斎藤清二,山本和利,岸本寛史監訳(2001). 金剛出版.
- 橋本洋子 (2000). NICU ところのケア 家族のところによりそって, 東京: メディカ出版.
- Heermann,JA., Wilson,ME.(2000). Nurses' experiences working with families in an NICU during implementation of Family-Focused Developmental Care. *Neonatal Network*, 19(4), 23-29.
- 井田滋美, 山田沙弥果 (2006). NICU 入院時を持つ母親への育児支援, 名古屋市立病院紀要, 29, 113-115.
- 井上みゆき(2001). 超低出生体重児を産んだ母親の初回面会の体験, 日本看護学会論文集: 小児看護, 31, 71-73.
- 石田貴子他 (2007). 早産で超・極低出生体重児を持つ親の NICU 入院中における戸惑い, 国立高知病院医学雑誌, 16, 57-62.
- 河野由美他(1999). 新生児室退院前の母児同室の効果と問題点, 日本未熟児新生児学会雑誌, 11(1), 57-64.
- 木村晶子 (2008). ハイリスク児の母親とかかわる産科看護者の体験, 札幌医科大学大学院保健医療学研究科修士論文.
- 木村晶子 (2009). ハイリスク児の母親とかかわる助産師の体験, 日本助産学会誌, 23(1), 72-82.
- 木村晶子 (2010). NICU に入院した子どもの母親をケアする助産師の体験の本質を探究する過程—研究者の内省を用いて—. 日本保健医療行動科学会年報, 25, 107-122.
- Klaus, M.H., Kennel, J.H.(1985).親と子のきずな. 竹内徹, 柏木哲夫, 横尾京子訳(2002). 医学書院.
- 近藤祐子他 (2003). 低出生体重児を出産した母親の心理状態の変化, 日本看護協会論文集: 小児看護, 34 号, 115-117.
- 厚生労働省. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/08/dl/03.pdf> [2010-04-14]
- Krysiya, M., Yardley-Matwiejezczuk.(1997).ロール・プレイ 理論と実際, 和泉浩(2011). 現代人文社.
- Lee, S.N.C., Long, A. &Boore, J. (2009). Taiwanese women's experiences of becoming a

- mother to a very-low- birth-weight preterm infant: A grounded theory study. *International Journal of Nursing Studies*, 46, 326-336
- Lindberg & Öhrling (2008). Experiences of having a prematurely born infant from the perspective of mothers in northern Sweden. *International Journal of Circumpolar Health*, 67(5), 461-471
- 増田サチコ他 (2002). NICU における親子関係形成のプロセスについて, *三重看護学誌*, 4(2), 71-86.
- 松沢玲子他(2000). 超低出生体重児の母への愛着形成支援, *青森県立中央病院医誌*, 45(1), 40-43.
- 宮嶋ゆかり他 (2008). 予後不良児を持つ母親への精神的支援の一考察, *仙台赤十字病医誌*, 17(1), 113-119.
- 森恵美(2008). 系統看護学講座専門 25 母性看護学 2(第 11 版). 東京: 医学書院, 428-431.
- 森藤香奈子, 宮原春美, 宮下弘子(2004). 長崎大学医学部保健学科紀要, 17(2), 53-57.
- Moustakas,C. (1990). *Heuristic research*, California: Sage.
- 永田雅子他(1997). NICU 入院児の母親への心理的アプローチ, *小児の精神と神経*, 37(3), 197-202.
- 中島登美子(2000). カンガルーケアを実施した母親の早期産体験の癒し, *看護研究*, 33(4), 331-342.
- 中島登美子(2001). 早期産の母親の子どもに対する愛着的感情と気分, *日本看護学会誌*, 10(1), 43-49.
- 難波美奈他(1996). 低出生体重児退院へ向けての母親への支援, *母性衛生*, 37(2), 289-292.
- 日本看護協会. <http://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/nintei/touroku.html>
[2010-04-13]
- 太田尚子(2009). ペリネイタル・ロスのケアに関する看護者教育プログラムの効果: ランダム化比較試験, 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士論文.
- 小山田恭子(2008). 中堅看護師を対象とするナラティブを用いた批判的内省プログラムの評価, 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士論文.
- Partridge, J.C., Martinez, A.M., Nishida, H., et al. (2005). International comparison of care of very low birth weight infants: Parents' perceptions of counseling and decision-making. *Pediatrics*, 116(2), e263-e271.

- Rubarth, L.B.(2003). The lived experience of nurse caring for newborns with sepsis. *Journal of Obstetric, Gynecologic&Neonatal Nursing*, 32(3), 346-356.
- 笹本優佳他(1998). カンガルーケアが早産の母子の行動, 関係性発達におよぼす効果について, *小児保健研究*, 45, 40-43.
- Shin, H. & White-Traut, R. (2007). The conceptual structure of transition to motherhood in the neonatal intensive care unit. *Journal of Advanced Nursing*, 58(1), 90-98.
- 新道幸恵(2006). 新体系看護学全書第 33 巻母性看護学②妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護. 東京:メヂカルフレンド社, 434-435.
- 新道幸恵他(2002). 助産師のメンタルヘルスケア能力育成を目的とした卒後教育プログラムの開発とその評価に関する研究, *母性衛生*, 43(2), 372-380.
- 塩崎真里, 柴田彩子, 森畑智子 (2006). NICU 入室患児の母親にとっての面会ノートの有用性, *淀川キリスト教病院学術雑誌*, 23, 21-24.
- 住本ちえこ(2005). 初回面会においての低出生体重児を持つ母親と看護師の関わり 転機の場合での看護師の声かけ, *加古川市民病院誌*, 6, 17-20.
- 津村俊充, 石田裕久(2003).ファシリテーター・トレーニング, ナカニシヤ出版,113-115.
- 山本美佐子, 水島禮子 (1998). 早産の母親の母性アタッチメント形成に関する研究, *群馬県立医療短期大学紀要*, 第 5 巻, 43-54.
- 保田司, 武本愛子 (2004). 出産後分離状態を余儀なくされた母親への援助, *津山中央病院医誌*, 18(1), 115-119.
- Vaughn, S., Schumm, J.S., Sinagub, J.M.(1996). グループ・インタビューの技法. 井下理, 田部井潤監訳(1999). 慶應義塾大学出版会.
- Vehkakoski, T.M.(2007). Newborns with an impairment: Discourses of hospital staff. *Qualitative Health Research*, 17(3), 288-299.
- 横尾京子, 中込さと子, 藤本紗央里(2008). 看護者の認識に基づいた周産期ファミリーケア教育プログラムの作成, *日本新生児看護学会誌*, 14(2), 24-29.
- 吉田時子, 前田マスヨ(2001). 標準看護学講座 30 巻母性看護学, 東京:金原出版, 414-415.